

東与賀まちづくり協議会だより

発行：東与賀まちづくり協議会

令和5年度佐賀市地域づくり交流会が開催

令和6年1月27日、「持続可能なまちづくり～明るい未来へつなぐバトン～」をテーマとした令和5年度佐賀市地域づくり交流会が、まちづくり協議会など51団体、約300人が参加して「メートプラザ佐賀」で開催されました。この交流会は地域づくりに関わる多様な主体(まちづくり協議会、市民活動団体、企業、大学など)が自らの役割や連携のあり方についての認識を深めるとともに、今後の事業の広がりや協働の可能性を見出し、実践につなげるため、佐賀市が主催して開かれているものです。

交流会では、「私からはじまる協働のまちづくり～子育て世代の特徴からみた地域活動への参加と担い手としての可能性～」をテーマに花園大学 社会福祉学部 准教授：深川光耀氏の基調講演に続き、春日北まちづくり協議会及び佐賀県防災士会による事例発表が行われました。会場ロビーではまちづくり協議会をはじめとする各団体の活動内容などをまとめたポスターの展示・紹介ブースがあり、参加者は熱心に見入っていました。

基調講演では、講師の深川氏から子育て世代の地域活動に対する想いや、<私>から始まり、まわりをゆるやかに引きつけ、共に力を発揮しあうことを通じて『公共の幸福』に導く一連のプロセス(私発協働)についての話をいただきました。事例発表では、春日北まちづくり協議会副会長安富千鶴氏が「こども縁日」を通して地域の活性化に繋げていったご自身の体験を話されました。佐賀県防災士会代表溝上良雄氏からは『防災活動から地域づくりへ』をテーマに、防災を地域全体で取り組む必要性についての話がありました。

「振り返り・まとめ」では深川氏から、①参加者同士の出会いから、手の取り合いに、②「がんばらんばー」だけではなく、気の合う仲間との楽しみを大事に、③私発協働を今日から・私たちから、との提案がありました。まちづくり協議会の今後のあり方についてのヒントをいただき、また、課題について視点を変えてやってみようという意識付けになった交流会でした。



安全・安心部会「安全・安心で元気に楽しく暮らすまち」

部会長：内田 好秋
副部会長：樋口 博

防災講演会を開催

安全・安心部会は「安全・安心で元気に楽しく暮らすまち」を目指して、これまで各地区の見守り活動や危険個所の把握及びその改善方法などを毎月の定例会に持ち寄り、意見交換をして少しでも地域住民の安心に繋がればとの思いで活動しています。

東与賀町では、平成29年(2017年)2月に東与賀自主防災会本部が設立されました。「安全・安心部会」部会長はこの自主防災会本部の部長を兼務しており、自治会等と連携して、防災訓練、防災・減災に関する講演会の開催、ハザードマップ作りなどに取り組んでいます。

今年度は、この東与賀自主防災会本部の主催による防災講演会が令和6年3月3日、農村環境改善センターで開催され、町内の防災関係者、まちづくり協議会の委員など約40名が参加しました。講師に九州地方整備局武雄河川事務所の興梠逸郎氏を招聘し、「東与賀町の水害について～変化に敏感に、地域防災力アップ～」と題したご講演をいただきました。

洪水氾濫や高潮被害を受けやすい佐賀平野は、河川が最も高い位置にあり、河川が氾濫すると甚大な被害が発生します。避難所に避難するだけが安全という訳ではありませんが、状況に応じ垂直避難や丈夫で高い建物への避難も必要です。それには、正確な情報収集、的確な判断、速やかな避難行動が重要です。防災・減災に対する日頃の準備を心がけましょう。

交通安全通学帽子を新1年生に

東与賀まちづくり協議会「安全・安心部会」は、東与賀小学校令和6年度入学の新1年生38人に交通安全のための通学用帽子を贈りました。なお、佐賀南地区交通安全協会東与賀支部からはランドセルカバーが同じように新1年生に贈られました。新入学児童のみなさん、交通事故に気をつけましょう。



健康・福祉部会「元気・笑顔あふれるまち」

部会長：坂井 満
副部会長：田中 美小夜

健康料理教室を開催

令和6年3月2日、農村環境改善センターで「健康料理教室」を開催しました。この料理教室は、東与賀公民館とまちづくり協議会(健康福祉部会)の共催で、教室には33人の受講生が参加、「東与賀食生活改善推進協議会」の方々には調理指導等でご協力いただきました。

まちづくり協議会健康福祉部会の部会員でもある「東与賀食生活改善推進協議会」の蒲原素子会長から、「動脈硬化を予防しよう」のテーマで、佐賀市の食の現状、野菜が血管づくりに必要なことなど「食と健康」について話をいただいた後、調理実習に移りました。

メニューは、①麦ごはん②鶏もも肉のおろしぼん酢かけ③小松菜とコーンのからしごまマヨ和え④みそ汁⑤ずんだ白玉で、最後は参加者全員で完成した料理の試食を行い、食と健康の結びつきについて理解を深めました。「健康料理教室」については、令和6年度も開催しますので、皆さんぜひご参加ください。



子どもの育成部会「子どもの明るい声が響くまち」

部会長：山田 邦雄
副部会長：大久保 新

東与賀の豊かな自然を学ぶ

子どもの育成部会は、東与賀小学校の児童を対象に「米づくり体験事業」「干潟体験事業」を実施しています。令和5年10月23日、下飯盛の圃場でJA青年部の指導のもと東与賀小学校5年生が稲刈りを行い、米の収穫を体験しました。また、11月16日には、同小5年生が「干潟体験」として、干潟に棲む生き物調査や有明海に飛来する野鳥観察を行いました。子どもたちはこの体験を通して、自然や生き物と触れ合い、自然環境に対する理解を深める貴重な機会となったことでしょう。

また、東与賀中学校1年生を対象にした「干潟体験事業」が令和5年10月3日に行われ、生徒たちは「東与賀干潟」という身近で貴重な自然を通して環境に対する豊かなものの見方や考え方を学んだことと思います。



自然・環境部会「四季が見える自然の宝を守るまち」

部会長：富吉 玉恵
副部会長：山田 良子

ふるさとの自然を守るために

新体制でスタートして早1年が過ぎました。自然・環境部会は「四季が見える自然の宝を守るまち」をスローガンに他の部会との相互協力で活動に努めています。

昨今は大雨で大量のごみが干潟周辺に流れ着きます。大切なシチメンソウを守るためにも美しい景観を保つためにも清掃活動は欠かせません。また、シチメンソウは一部で生育不良や立ち枯れがみられる状況ですので種まき作業も必要です。

秋には東与賀小・中学校と連携し、子どもの育成部会との協力で毎年、干潟の自然観察会を行っています。令和6年度は佐賀国民スポーツ大会と観察会の実施時期が重なっており、児童・生徒の干潟までの移動手段であるバスの手配ができるのか危惧されます。

また、9月初めにはシチメンソウを育てる会や佐賀市東与賀支所と協力してコスモスの種まきを行います。11月のシチメンソウまつりには美しい花が楽しめるように計画しています。



人のつながり部会 結(つながり)・ふれあいがあるまち

部会長：竹下 敏郎
副部会長：洲田 桂子

課題解決支援講座を共同企画

まちづくり協議会は「自然豊かであふれる笑顔と思いやりのまち東与賀」を目標に、各種団体とともに活動を展開しています。しかし、近年はメンバーのなり手不足が顕在化しており、将来のまちづくりのためにも地域への愛着を育む取り組みが重要になってきています。

そこで、多くの皆さんにまちづくりについて関心を持ってもらおうと、個人の趣味や暮らしに身近な存在の「写真」をテーマとした講座を県・市・公民館とまちづくり協議会の共同企画として開催しました。講座は令和5年10月から令和6年2月まで概ね月2回開催、学び(写真講座4回)と交流(レトロカフェ4回)によって地域の顔見知りを広げる機会を提供し、参加者相互の交流に繋げてもらうものです。

「人のつながり部会」も東与賀公民館等とともに、地域の問題に地域全体で取り組むというこの課題解決支援講座に参加しました。「写真」という共通の話題で人とつながるといふ新しい企画が今後のまちづくりに発展していくよう期待しています。



あいさつ運動を展開

令和5年11月3日、「ひがさす広場」で恒例のシチメンソウまつりが開催されました。また、令和6年1月7日には「佐賀市二十歳のつどい(東与賀会場)」が改善センターで行われました。「人のつながり部会」では、この2つの催しで「あいさつ運動」を展開しました。「おはようございます。」等と来場者に声をかけ、部会の目標「結(つながり)・ふれあいがあるまち」を目指し、地域におけるコミュニケーションの充実を実践しました。



地域の活性化部会 「人が集まり交流が盛んで活気あふれるまち」

部会長：山田 和由
副部会長：石丸 幸子

凧づくり教室・親子凧あげ大会を開催

令和6年2月10日、農村環境改善センターで凧づくり教室を行いました。25名の参加者の内、数名は家で作ってくると持ち帰りされた方もいましたが、一生懸命凧に絵を書き、個性的な凧がたくさんでき上がり、みんなで記念写真を撮りました。

そして、2月18日、第8回新春親子凧上げ大会を開催しました。令和4年度はコロナのために中止となりましたが、平成27年(2015年)の第1回大会から9年目を迎えることができました。この凧上げ大会は9月の夕暮れコンサートに続く行事です。当日は凧上げ日和の好天に恵まれ、例年にもまさる盛んな大会ができました。

小学2年生までの低学年の部と小学3年生以上の2部構成で競技を実施しました。持参された凧の手作り感が例年にも増して冴え、空を舞う凧の躍動感と子ども達の笑顔が大会を盛り上げてくれました。

「地域の活性化部会」は、今後も広大な干潟、豊かな自然の中にある東よか公園を、人が集まり、親子の絆や多様な交流体験できる場として活

かし、活気あふれる町づくりを推進していきます。

楽しかった
です!

